

2020 会 告 No.10

◇通知・案内事項

○第86年会 開催案内
「一般研究発表」講演募集 「シンポジウム」企画募集…………… 本号5ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

◇年会	(2021)
◇秋季大会	3/20～22(オンライン)
◇支部大会	9/22～24(岡山大学)
◇学生発表会(東地区)	
(西地区)	

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)
行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
2020年10月 October			
5	材料化学システム工学討論会2020(オンライン)	10月2日(金)	本号8
7	いまさら化学工学シリーズ第3回「反応工学編」(10/7-11/11の全4回)(大阪府)		9号11
13～14	粉体エンジニア早期養成講座【乾燥】(静岡県)		5号9
17	上席化学工学技士 面接試験【三次】(東京都)		6号6
19～20	入門触媒科学セミナー(オンライン)		本号9
22	第7回ものづくり技術セミナー 「炭素繊維強化プラスチック(CFRP/CFRTP)のものづくり技術」(東京都)		9号10
22～23	粉体エンジニア早期養成講座【混合・混練】(大阪府)		5号9
22～23	第46回経営ゼミナール「明日の日本を私が創る ～VUCA時代の羅針盤を造れ!～」 東海セッション(愛知県)		6号7
2020年11月 November			
5～6	第44回 基礎化学工学演習講座(第2クール) 特別ライブ配信(オンライン)	10月20日(火)	本号8
12	公開講演会「マテリアルインフォマティクスの最近の動向」(オンライン)	11月2日(月)	本号9
13	第44回 基礎化学工学演習講座(第2クール) 特別ライブ配信(オンライン)	10月20日(火)	本号8
19～20	ナノ材料の表面分析講習(オンライン)	10月29日(木)	本号9
27	第5回ソフトマター工学分科会講演会(オンライン)	11月13日(金)	本号8
27～28	第46回経営ゼミナール「明日の日本を私が創る ～VUCA時代の羅針盤を造れ!～」 幕張セッション(千葉県)		6号7
2020年12月 December			
11	中国地区化学工学特別講演会「持続可能社会の実現に向けた化学産業貢献」(広島県)	11月6日(金)	本号10
11～12	化学工学会 広島大会2020(広島県)	10月16日(金)	9号11
2021年1月 January			
28～29	粉体エンジニア早期養成講座【ろ過】(大阪府)		5号9
2021年2月 February			
3～4	粉体エンジニア早期養成講座【粒子加工】(兵庫県)		5号9
25～26	粉体エンジニア早期養成講座【粉碎】(大阪府)		5号9
2021年3月 March			
20～22	化学工学会第86年会(オンライン)	12月22日(火)	本号5

2021年9月 September			
22～24	化学工学会第52回秋季大会(岡山県)		

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
2021年3月20～22日	International Chemical Engineering Symposia 2021 (ICHES 2021) (オンライン)	12月22日(火)	
2021年7月19～23日	The 14th International Symposium on Process Systems Engineering プロセスシステム工学国際会議2021 (PSE 2021) (京都府)		6号8
2021年9月12～17日	24th International Conference on Chemical Reactor (CHEMEREACTOR-24) (Milan, Italy)		
2021年12月5～8日 (暫定)	26th International Symposium on Chemical Reaction Engineering (ISCRE26) (New Delhi, India)		
2022年8月中旬で 調整中	19th Asian Pacific Confederation of Chemical Engineering (APCChE) Congress (Kuala Lumpur, Malaysia)		

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
第61回粉体入門セミナーⅢ「粉をあやつる」(オンライン)	10月1～2日 (木～金)	日本粉体工業技術協会	075-354-3581 (075-352-8530) nyumon@appie.or.jp https://www.appie.or.jp/FS-APL/FS-Form/form.cgi?Code=nyumon
日本マイクログラフィティ応用学会 第32回学術講演会(オンライン)	10月4～7日 (日～水)	日本マイクログラフィティ応用学会	04-2959-9143 (04-2959-9143) jasmac-32@jasma.info http://www.jasma.info/jasmac-32/
第83回技術セミナー 腐食防食専門士による「腐食防食技術実践・応用セミナー」 —スペシャリストのノウハウを学ぶ—(東京都)	10月9日(金)	腐食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) naito-113-0033@jcorr.or.jp
第15回エレクトロヒートシンポジウム《web開催》 (オンライン)	10月20日～ 11月20日(火～金)	日本エレクトロヒートセンター	03-5642-1733 (03-5642-1734) fukunaga@jeh-center.org
第68回レオロジー討論会(岩手県)	10月21～23日 (水～金)	日本レオロジー学会, 日本バイオレオロジー学会	075-315-8687 office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/gyoji
研究者, 技術者のための, 応用数学(オンライン)	10月21～23日 (水～金)	神奈川県立産業技術総合研究所	044-819-2033 (044-819-2097) ed@newkast.or.jp
第42回安全工学セミナー「危険現象講座」(オンライン)	10月22～23日 (木～金)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com http://www.jsse.or.jp/
第11回マイクロ・ナノ工学シンポジウム(オンライン)	10月26～28日 (月～水)	日本機械学会 マイクロ・ナノ工学部門	mnm2020@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/conference/mnm2020/
第67回材料と環境討論会(オンライン)	10月26～28日 (月～水)	腐食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) ysm.hng-113-0033@jcorr.or.jp
第57回石炭科学会議(香川県)	10月27～28日 (火～水)	日本エネルギー学会 石炭科学部会, コークス工学研究部会, 重質油部会	03-3834-6456 (03-3834-6458) sekitan57sanka@jie.or.jp

第41回日本熱物性シンポジウム(神奈川県)	10月28～30日 (水～金)	日本熱物性学会	042-759-6213 (042-759-6212) info2020@jstp-symp.org http://jstp-symp.org/symp2020/index.html
第27回成形加工テキストセミナー ーテキストシリーズ第5巻「先端成形加工技術Ⅱ」ー (東京都)	10月29日(木)	プラスチック成形 加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) kikaku-event@jspp.or.jp https://www.jspp.or.jp/
第32回環境システム計測制御学会(EICA)研究発表会 (オンライン)	10月30日(金)	環境システム計測 制御学会	090-9219-4106 (077-537-4997) info@eica.jp
第14回日本電磁波エネルギー応用学会シンポジウム ーSDGsを目指す電磁波エネルギー応用研究と研究者の 未来を拓くー(オンライン)	11月5～6日 (木～金)	日本電磁波エネ ルギー応用学会	03-3414-4554 (03-3414-4554) office@jemea.org https://www.jemea.org/?p=49436
第42回安全工学セミナー「プラント安全講座」 (オンライン)	11月11～12日 (水～木)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com http://www.jsse.or.jp/
第46回腐食防食入門講演会(東京都)	11月12～13日 (木～金)	腐食防食学会	03-3815-1161 (03-3815-1291) naito-113-0033@jcorr.or.jp
エコデザイン・プロダクツ&サービスシンポジウム2020 (EcoDePS2020)(オンライン)	11月17日(火)	エコデザイン学会 連合(幹事団体: エコデザイン推進 機構)	080-1315-3632 secretariat@ecodenet.com http://ecodenet.com/EcoDePS2020/
国際粉体工業展東京2020(東京都)	11月18～20日 (水～金)	日本粉体工業技術 協会	03-5297-8855 (03-5294-0909) info2020@powtex.com https://www.powtex.com/tokyo/
第36回ゼオライト研究発表会(富山県)	11月19～20日 (木～金)	日本ゼオライト学 会	076-445-6925 (076-445-6931) tsubaki@eng.u-toyama.ac.jp https://jza-online.org/events
第42回ドライプロセス国際シンポジウム(DSP2020) (東京都)	11月19～20日 (木～金)	第42回ドライプロ セス国際シンポジ ウム組織委員会	070-5268-6664 (020-4622-1920) dps2020@officepolaris.co.jp http://www.dry-process.org/2020/
第11回イオン液体討論会(東京都)	11月19～20日 (木～金)	イオン液体研究会	11thmeeting@ilra.jp http://www.ilra.jp/
2020年日本表面真空学会学術講演会(オンライン)	11月19～21日 (木～土)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) office@jvss.jp https://www.jvss.jp/
第63回自動制御連合講演会(オンライン)	11月21～22日 (土～日)	計測自動制御学会	rengo63@sice.or.jp https://www.sice.or.jp/rengo63/
2020合同WEB討論会 (第52回溶融塩化学討論会, 第44回電解技術討論会・ソー ダ工業技術討論会, 第40回水素エネルギー協会大会 (HESS大会))(オンライン)	11月26日～ 12月3日(木～木)	合同討論会実行委 員会(水素エネ ルギー協会, 電解科 学技術委員会, 溶 融塩委員会)	2020goudou@hess.jp https://confit.atlas.jp/guide/event/hessecsj2020/static/registration
第39回溶媒抽出討論会(オンライン)	11月30日～ 12月1日(月～火)	日本溶媒抽出学会	03-5734-3845 takeshita.k.ab@m.titech.ac.jp http://www.solventextraction.gr.jp/jp/00home.html
成形加工シンポジウム'20(富山) プラスチック成形加工学会 第28回秋季大会 「新鮮技術で“きととき”成形加工」(富山県)	12月1～2日 (火～水)	プラスチック成形 加工学会	0766-56-7500 sympo2020@jspp.or.jp https://www.jspp.or.jp/

第61回高圧討論会(オンライン)	12月2～4日 (水～金)	日本高圧力学会	070-5658-7626 (020-4665-8596) touronkai61@highpressure.jp http://www.highpressure.jp/new/61forum/
第58回燃焼シンポジウム(オンライン)	12月2～4日 (水～金)	日本燃焼学会	089-927-9718 sympo58@combustionsociety.jp http://www.combustionsociety.jp/sympo58/
Joint 11th International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 21th International Symposium on Advanced Intelligent Systems (SCIS&ISIS2020) (オンライン)	12月5～8日 (土～火)	日本知能情報フ ァ ジ ィ 学 会	scisis2020+info@gmail.com http://scis.j-soft.org/2020/
第3回安心・安全・環境に関する計算理工学国際会議 (COMPSAFE2020) (兵庫県)	12月8～11日 (火～金)	COMPSAFE2020実 行 委 員 会	secretary@compsafe2020.org http://www.compsafe2020.org
第40回レオロジー講座 –基礎と測定法– (東京都)	12月9～10日 (水～木)	日本レオロジー学 会	075-315-8687 office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/
第47回炭素材料学会年会(沖縄県)	12月9～11日 (水～金)	炭素材料学会	http://www.tanso.org/contents/event/conf2020/index.html
第15回再生可能エネルギー世界展示会&フォーラム (東京都)	12月9～11日 (水～金)	再生可能エネ ル ギ ー 協 議 会	03-5297-8855 (03-5294-0909) info@renewableenergy.jp http://www.renewableenergy.jp
2020 第1回粉体技術者養成講座【集じん】(愛知県)	12月10～11日 (木～金)	日本粉体工業技術 協 会	075-354-3581 (075-352-8530)
2020環太平洋国際化学会議(PACIFICHEM2020) (ハワイ州ホノルル)	12月15～20日 (火～日)	日本化学会	03-3292-6163 sakurada@chemistry.or.jp https://pacificchem.org
第29回微粒化シンポジウム(オンライン)	12月17～18日 (木～金)	日本液体微粒化学 会 (ILASS-Japan)・ 日 本 エ ネ ル ギ ー 学 会	0277-30-1523 yzama@gunma-u.ac.jp http://www.lass-japan.gr.jp
第37回ニューメンブレンテクノロジーシンポジウム2021 (オンライン)	2021年 1月19～22日 (火～金)	日本膜学会・日本 能 率 協 会	03-3434-1410 (03-3434-3593) tech-con@jma.or.jp
第32回高分子ゲル研究討論会(東京都)	2021年 1月21～22日 (木～金)	高分子学会 高分子 ゲ ル 研 究 会	03-5540-3771 (03-5540-3737) http://main.spsj.or.jp/c12/gyoji/gels.php
第37回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス (東京都)	2021年 1月26～27日 (火～水)	エネルギー・資源 学 会	06-6446-0537 (06-6446-0559) webmaster@jser.gr.jp
第42回安全工学セミナー「安全マネジメント講座」 (オンライン)	2021年 1月28～29日 (木～金)	安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com http://www.jsse.or.jp/
第58回粉体に関する討論会(北海道)	2021年9月6～8日 (月～水)	第58回粉体に関す る 討 論 会	0143-46-5747 (0143-46-5701) syama@mmm.muroran-it.ac.jp http://www.mtrl.kitami-it.ac.jp/~funtai/
The 9th International Symposium on Surface Science (ISSS-9) (香川県)	2021年 11月28日～ 12月2日(日～木)	日本表面真空学会	(03-3812-2897) iss9@jvss.jp http://www.jvss.jp/iss9
The 7th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials (ICCCI2022) (山梨県)	2022年7月5～8日 (火～金)	粉体工学会	045-339-3959 (045-339-3957) iccci2022@ynu.ac.jp http://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2022/

第86年会 開催案内

「一般研究発表」講演募集 「シンポジウム」企画募集

- 会場：オンライン開催。ただし、一部、オンサイトを併用して実施する可能性があります。
- 会期：2021年3月20日(土)～3月22日(月)
- 講演申込期間：2020年11月2日(月)～12月22日(火)23:59
大会Webサイトからの申込に限ります。
- 講演要旨原稿提出期間：2021年1月5日(火)～2月20日(土)23:59必着
講演要旨原稿は、大会Webサイトからの電子ファイル(PDF)での提出に限ります。
一般講演、招待講演とも、締切日までに提出されない場合には、その講演の要旨は大会Webサイトならびに講演要旨集(別売り)に掲載いたしません。締切日以降、講演要旨原稿の訂正は一切できません。
- 大会WebサイトURL：<http://www3.scej.org/meeting/86a/>

化学工学会第86年会は、2021年3月20日(土)～22日(月)の3日間、オンラインにて開催されます。今回の年会では、一般研究発表に加え、産業セッション、シンポジウム「化学産業技術フォーラム」、国際シンポジウム(英語セッション)を行います。その他のシンポジウムも企画中です。多数のご参加、講演申込をお願いいたします。

講演申込は大会Webサイトからのみ受け付けます。大会Webサイトでの説明に従ってください。講演申込締切後の変更、訂正は一切できませんので、ご注意ください。

講演要旨原稿は、電子ファイル(後述)として作成してください。講演要旨原稿が締切日までに提出されない場合には、その講演の要旨は大会Webサイトならびに講演要旨集(別売り)に掲載いたしませんので予めご了承ください。また講演要旨は、事前参加登録者(参加費支払済の方)全員に、大会会期前に大会Webサイトで限定公開いたします。

(ここに掲載されている諸事項は変更される場合があります。最新情報は大会Webサイトをご確認ください。)

新型コロナウイルス感染症への対応について

現在のところ、遠隔会議システム(Zoom)を用いた「オンライン開催」の予定です。一部の企画においては、オンサイトからの双方向ライブ配信を予定しております。全ての企画は、オンラインで発表・聴講いただけます。ただし、新型コロナウイルス感染症の今後の状況により、「オンサイトからの双方向ライブ配信」も「オンライン開催」に変更させていただく可能性があります。なお、第86年会は、「化学工学会本部が主催するイベント開催形態に関するCOVID-19対応ガイドライン」および「化学工学会本部開催行事におけるCOVID-19感染拡大防止ガイドライン」に従います。ガイドラインの詳細は、化学工学会Webサイト(<http://www.scej.org/>)をご参照ください。

注意点

○各開催形態に応じた発表可否の選択について
全ての講演をインターネット配信します。オンライン参加者は遠隔会議システム(Zoom)の環境準備(カメラ、マイク；PC付属のものでも可；ヘッドセットマイクが望ましい)が必要となります。また、発表内容は自動公衆送信による再送

信とみなされますので、他人(共同研究先を含みます)の著作物が含まれる場合、発表者の責任でそのことを含めた許諾を得る必要があります。なお、一切の録音・録画・撮影を禁じます。このことについて大会参加登録の際に同意いただきます。

つきましては、講演申込の際に、オンラインでの発表可能かどうかをご選択いただけます。オンラインで発表が難しい場合、東京都内に設けるライブ配信用の講演会場にて発表可能かどうかをご選択いただけます。

○講演発表申込時の発表者事前了解について
必ず、発表者(連名)全員の事前了解を得てください。

申込フォームにこれに該当するチェック項目がありますので、ご注意ください。

○化学工学会資格(※)保有有無について
発表者の化学工学会資格保有状況が入力項目となっています。保有されている化学工学会資格をここに入力いただいた場合、プログラム集にもその旨掲載されます。また、該当者のポスター発表については、ポスターボードに保有資格を示す印を付与します。必須入力項目ではありませんが、資格を持っておられる方は是非ご協力ください。

(※上席化学工学技士、化学工学技士、化学工学技士(基礎)、化学工学修習士。保有している最上位資格を入力するようになっていきます。)

また、口頭発表時投影資料、ポスター等に発表者名を記載される場合も、保有資格を是非ご記載ください。

○口頭発表時投影資料、ポスター掲示資料の使用言語について
学術発表の口頭発表時投影資料は、英語表記を強く推奨しています。学術発表のポスター掲示資料は、原則として英語表記とします。

講演申込について

○申込資格
1) 講演の申込者および登壇者は、下記の方に限ります。
化学工学会
正会員(名誉会員を含む)
学生会員(ただし、修士課程以下の学生はポスター発表のみ)
教育会員
海外会員(海外正会員、海外連携会員、海外学生会員)

法人会員(維持会員、特別会員(特別地区会員を含む))に属する社員)

共催学会の個人会員
特別講演者および招待講演者、依頼講演者

中国化学学会(CIESC)、韓国化学工学会(KICHe)、台湾化学工程学会(TwICHe)、ドイツ化学工学バイオ学会(DECHEMA)、米国化学工学会(AICHe)の個人会員

上記に該当しない登壇予定者は、至急、入会手続きをお願いします。本会への入会手続きと問い合わせは、化学工学会Webサイト(<http://www.scej.org/>)をご参照ください。

2) 講演内容は未発表のものに限ります。ただし、次項の条件にて第85年会の講演要旨集に掲載された内容の発表も可とします。

3) なお、シンポジウム「化学産業技術フォーラム」の申込資格、講演内容等の詳細については、後述します。

○第85年会の講演要旨集に掲載された内容の再発表について(招待講演、依頼講演)

第85年会で受理された講演は発表済みとみなされますが、招待講演・依頼講演については、第86年会でも同じ内容の講演を認めます。

1) 発表形式(ポスター、口頭)の変更は可能です。
2) 発表者はその順序を含め変更できません。ただし、当該発表者の範囲で登壇者の交代は可能です。所属・会員種別等は必要な範囲で変更可能です。申込者の変更は制限ありません。

3) 題目および要旨の変更は認めません。要旨は第85年会にて提出した原稿の末尾脚注に「第85年会にて公表済み」と加筆したものを提出してください。

4) これら以外の大会(支部大会、学生発表会など)での発表は認められません。

○申込方法

講演を希望される方は、大会Webサイトからお申し込みください。講演申込期間は、2020年11月2日(月)から12月22日(火)です。大会Webサイトからの申し込みに限ります。なお、講演申込締切日以降の講演題目、発表者の変更および訂正などは、一切受け付けませんのでご了承ください。

講演申込が正しく受理された場合には、受理番号が記載された「受理通知」がE-mailで返送されます。この受理番号と、申込時にご自身にて入力いただいたパスワードは、問い合わせや講演要旨原稿の提出(アップロード)の際に必要となりますので、大切に保管してください。受理した講演申込は、受理から約15分以内に、その

一覧(受理番号、講演題目、発表者、キーワード)を大会Webサイトに掲載しますので、受理の確認にお使いください。

なお、講演プログラムの編成上、申込時にご希望いただいた講演分類を変更させていただく場合がありますが、その振り分けは実行委員会に一任ください。

○申込時の注意事項

- * 講演申込期間以外は受理できません。
- * JISコードのない日本語文字は使用しないでください。特に、丸数字や組み文字などの機種依存文字は使用しないでください。
- * 講演申込1件分をひとつずつ送信してください。
- * 二重送信は絶対にしないでください。
- * 申込内容に不備がある場合にはその内容が送信されず、不備項目が表示されます。元のフォームを訂正して再度送信してください。申込が受理された場合には、指定されたE-mailアドレス宛(申込者、研究グループ代表者)に受理番号を記載した受理通知が送られます。
- * 申込完了から24時間以内に受理通知が届かない場合は、下記の問い合わせ先にE-mailで、申込送信日と講演題目をお知らせください。
- * プログラム編成において、登壇者と研究グループ代表者については同じ時間に複数の講演や座長が重ならないよう配慮します。
- * 最終日はサーバーが非常に混雑し、申込ができない事態の生じることが予測されます。余裕をもってお申し込みください。
- * 大会Webサイトにも注意事項を記載いたしますので、必ずご覧ください。

○講演分類

申込時には、下記の分類とともにキーワード(英語)を3つ入力してください。

○一般研究発表

[1. 基礎物性]

平衡物性・輸送物性、固体物性、薬品の毒性・引火点、エンジニアリングデータ

[2. 粒子・流体プロセス]

熱物質流体工学、攪拌・混合操作、流動層技術、気泡塔・懸濁気泡塔、混相流、粉体プロセス

[3. 熱工学]

熱的単位操作、燃焼・プラズマ・伝熱、熱交換器、各種エネルギーシステム、マイクロおよびバイオテクノロジーへの伝熱・輸送現象の展開

[4. 分離プロセス]

膜工学、固液分離、蒸留、吸収、吸着・イオン交換、抽出、晶析、乾燥、特殊分離法

[5. 反応工学]

触媒反応工学、ソノプロセス、活性種化学、反応分離、反応装置、マイクロ化学プロセス、CVD・ドライプロセス

[6. システム・情報・シミュレーション]

プラントオペレーション、プロセスエンジニアリング、プロセスダイナミクス応用、プロセス制御、最適化手法、情報処理技術

[7. バイオ]

生物プロセス、生体反応、生物分離、遺伝子、メディカル、生物情報、環境生物、食料・食品

[8. 超臨界流体]

単位操作、基礎物性、分離・抽出、反応・物質変換、材料創製・製造、環境負荷低減プロセス

[9. エネルギー]

エネルギー開発、蓄熱・増熱・熱輸送技術、炭素系資源利用、熱エネルギー利用、新エネルギー・エネルギーシステム

[10. 安全]

リスクコミュニケーション方法、オペレーション設計法、安全設計、変更管理、安全性評価手法、安全技術伝承、少人化・無人化問題、物質安全

[11. エレクトロニクス]

電気化学プロセス(電池、めっき、等)、電子材料プロセス(半導体製造、電子回路製造、等)、微細加工技術(エッチング、薄膜形成、等)、高信頼性設計(高放熱、短絡現象、等)、インターコネクション技術(接着、接合、等)、環境持続可能技術

[12. 材料・界面]

界面制御、エマルション、機能性微粒子、ナノ粒子、ゲルテクノロジー、マイクロカプセル、晶析、塗布技術、微細構造形成・複雑分子集合体、機能化高分子素材、材料プロセッシング、材料レオロジー

[13. 環境]

水環境プロセス、排水処理技術、化学物質のリスク・管理、循環型社会設計手法、リサイクル技術、地球環境、CO2問題、地球全体の炭素循環

[14. 広領域]

テクノロジーマネージメント、経済評価・市場調査、教育、JABEE、その他

講演要旨原稿について

○作成・提出方法

講演要旨原稿の提出期間は、2021年1月5日(火)から2月20日(土)23:59までです。作成した講演要旨原稿をPDFファイルに変換し、大会Webサイトから提出(アップロード)してください。郵送、FAX、E-mailによる提出は受け付けません。講演題目や発表者名(連名発表者全員)が申込時のそれらと異ならないように注意してください。異なっている場合はプログラム(大会Webサイト、講演要旨集、冊子)に反映されないことがあります。

大会Webサイトに、標準的な書式ファイル(Microsoft Wordファイル)を掲載します。ご利用ください。

- 1) 講演要旨原稿はA4縦置きで作成し、PDFファイルで提出(アップロード)してください。大会Webサイトではカラーで掲載されます。
- 2) 原稿枚数は図表を含めて講演1件に対して1枚(1ページ)です。ただし、20分を超える講演は2枚(2ページ)です。
- 3) 原稿1ページの書式は以下を基準とします。
全体体裁：2段組み、24字×49行×2段＝2352字、段間の間隔6mm
マージン：上23mm、下23mm、左19mm、右19mm
字数、行数は多少変動しても構いませんが、横172mm、縦251mmの中に全内容を納めてください。
- 4) 原稿紙面の左上部は講演番号記載のため、左マージンから31mm(9文字分)、上マージンから21mm(4行分)を空白にしておいてください。
- 5) 講演題目は、1行目の左マージンから31mm(9文字分)空けて、本文より大きく書いてください。
- 6) 研究者氏名を「(所属略称)(会員資格・保有している取得化学工学会資格)氏名」の順に、3行目から右に寄せて書いてください。所属名は略称を記入してください。会員資格は、正会員は(正)、学生会員は(学)、法人会員に属する社員は(法)、海外(正・連携・学生)会員は(海)、部会のみ会員(部会個人賛助会員、部会法人賛助会員に属する社員)は(部)と記し、その他の場合は書かないでください。保有している化学工学会資格は7)を参照してください。連名の場合は、登壇者の会員資格の前に○印をつけてください。また、後日、講演内

容について質問を受けていただける方の右上に*印をつけてください。

(例)(芝浦工大)○(正・技士)化工一郎*・(学)東京花子・豊洲太郎

- 7) 発表者の保有している化学工学会資格は、最上位のものを以下の略称で記してください。化学工学修習士：修習、化学工学技士(基礎)：技基、化学工学技士：技士、上席化学工学技士：上技。

(例)(正)、(正・技基)、(学・修習)、(法・上技)等

- 8) 本文は5行目左欄から書いてください。ただし、2ページ以上の原稿の場合、2ページ目は1行目から書いてください。
- 9) 原稿の右下に脚注として*印をつけ、6)で説明した後日の連絡のためのE-mailアドレスを記載してください。

(PDFファイルに関する注意点)

- 1) ファイルサイズは1229 kB以下にしてください。
- 2) セキュリティ設定は「なし」にしてください。
- 3) 「全てのフォントの埋め込み」を行ってください。
- 4) PDFファイル作成後、図表のレイアウト等の体裁を、必ずご自身にて確認のうえ提出(アップロード)してください。
- 5) PDFファイルの提出(アップロード)には、受理番号と講演申込時にご入力いただいたパスワードが必要です。受理番号は、大会Webサイトの「受理済み申込一覧」でご確認いただけます。パスワードを忘れた場合は、原稿提出画面の「パスワードが分からない方はこちら」から確認いただけます(受理通知が再送されます)。
- 6) 締切日までの間は、何回でも「提出(アップロード)」を行うことができ、PDFファイルの差し替えが可能です。締切日後は、提出や訂正は一切できません。

(講演要旨原稿提出時の注意事項)

- * 締切日までに提出されなかった講演要旨原稿は、一般講演、招待講演、依頼講演ともに、大会Webサイトならびに講演要旨集(別売り)に掲載いたしません。
- * 締切日後の講演要旨の提出や訂正は、一切受け付けません。

○審査

講演要旨原稿について、書き方の体裁など簡単な審査を行います。規定に従っていない場合、受理しないことがあります。

○化学工学会 電子図書館での事後公開について
化学工学会では、化学工学会Webサイト(会員専用ページ)の「電子図書館」にて、講演要旨の事後公開を行います。要旨の作成に際しては十分に内容をチェックしていただくようお願い申し上げます。電子図書館での事後公開は大会終了から3カ月後です。

発表方法(一般研究発表)について

発表方法の詳細については大会Webサイトに掲載いたします。必ずご確認ください。

特許上の新規性の保護について

特許法第30条第2項の規定により、特許を受ける権利を有する者が本会が主催する大会において公表した講演要旨ならびに講演発表内容は、特許法により規定された所定の手続きを経

ることによって、公表後1年以内であれば、該公表によってその発明の新規性が喪失しないものとして取り扱われます。この場合、本会による、公表ないし発表がなされたことを証明する文書、が必要になる場合があります。詳細については、本会Webサイト (<http://www.scej.org/inquiry/intellectual-property.html>) をご確認ください。また、第86年会の講演要旨公表日は2021年3月8日(月)です。

ニューテックセッション(付設展示)の募集(予告)

2020年11月頃より、ニューテックセッション(付設展示)の募集を開始いたします。詳細は大会Webサイトに掲載予定です。

プログラム集広告・大会Webバナー広告の募集(予告)

2020年11月頃より、プログラム集広告・大会Webバナー広告の募集を開始いたします。詳細は本誌11号や大会Webサイトに掲載予定です。

「SCEJ冠シンポジウム」

個別企業の名前でセッションを開く、企業冠シンポジウムを募集します。各企業の化学工学に関連・連携する技術や将来ビジョンを発表いただく機会です。詳細は大会Webサイトをご覧ください。

「産業セッション」

第80年会(2015年)より継続して開催している

「産業セッション」を本大会でも実施いたします。産業界出身の委員によってテーマ設定された複数の口頭セッション、ポスターセッションから構成されます。今、産業界の関心事は何か、何を考えどう対応しようとしているか、最新の情報をお届けします。是非ご参加ください。

開催日等詳細については大会Webサイトをご覧ください。なお、発表テーマは公募しておりませんが、発表ご希望の方は産業セッション事務局(sato@scej.org)までお問い合わせください。

シンポジウム「化学産業技術フォーラム」

本フォーラムで発表いただくことにより、発表企業にとって技術や製品の宣伝のみならずその存在感を示すことでビジネスへの発展が大いに期待できます。また企業イメージを学生に具体的かつ積極的に発信することができます。是非積極的にご発表ください。

なお、シンポジウムの一部についてはテーマの公募を行います。詳細は大会Webサイトをご覧ください。

○参加・発表

「化学産業技術フォーラム」への参加・発表には、年会への参加登録が必要です(追加料金不要)。

○講演申込資格

年会要領に準じます。ただし、学生の発表はできません。

○講演の内容

- ・特許化したもの、企業化したもの、新聞発表したものも可とします。
- ・企業戦略、知的財産戦略などの関連から、「物質A、B、C」などによる発表も可とします。

○講演募集セッション、講演申込方法および締切、講演要旨原稿の作成要領、講演要領、等、詳細については大会Webサイトにてご確認ください。

国際シンポジウム | 英語セッション

全講演は英語で実施されるシンポジウムです。アジア国際賞受賞記念講演を含むセッションも予定されています。なお、全ての国際シンポジウムは年会内のセッションであるとともに、併催する国際会議 International Chemical Engineering Symposiaの一部となります。

国際会議「International Chemical Engineering Symposia」

年会に合わせ、国際会議 International Chemical Engineering Symposia が併催されます。年会での国際シンポジウムはこの国際会議の一部となります。一般講演も募集します。詳細については学会ホームページ等を通じて後日お知らせいたします。

危機管理対応

危機管理規程による危機への対応を事前に参加者に告知する予定です。

問合せ先

化学工学会第86年会実行委員会
E-mail : inquiry-86a@www3.scej.org

部 会 C T

材料化学システム工学討論会2020 (オンライン開催)

本討論会は、最新の研究を行っている新進気鋭の研究者に話題を提供して頂き、材料・界面部会の若手研究者を中心として「徹底的に」討論することを趣旨として、毎年8月末～9月初めに開催しています。昨年度も、講演者(教員3名、博士課程学生3名)を含む31人の参加者があり、一発表当たり1時間～1時間40分の持ち時間が足りないほどの議論があり、懇親会も含めて、盛会のうちに終えることができました。

今年度は、新型コロナウイルスの影響によって全国から東京に集まって討論会を行うことはできなくなりましたが、10月5日(月)の午後に、博士課程3年生の学生2名による講演をオンラインで行うことになりました。分野を超えた多くの若手研究者、学生の積極的なご参加をお待ちしております。

日時 2020年10月5日(月)
開催方法 オンライン開催(Zoom)

プログラム

- 13:30～13:35 開会のあいさつ
13:35～13:45 材料・界面部会長(東京理科大学 庄野 厚 教授)挨拶
13:45～14:45 「枯湯引力誘起型コロイド自己集積現象における構造形成機構の解明」
京都大学大学院 工学研究科 化学工学専攻 博士後期課程3年(学)新井 希 氏
14:50～15:50 「固体リン酸塩電解質を利用した中温作動型電解セルの開発」
東京大学大学院 工学系研究科 化学システム工学専攻 博士課程3年(学)藤原直也 氏
15:50～16:00 総括、閉会の挨拶

参加費 無料

参加方法 化学工学会のホームページ経由で参加できるよう設定します。
参加方法の詳細については、お申し込みいた

だいた方に、個別にご連絡します。

参加申込締切 2020年10月2日(金)

申込方法

参加者のお名前、所属、連絡先(E-mail、電話番号等)をご記入の上、E-mailにて下記連絡先までお申し込みください。

なお、本討論会がオンラインとなったことに伴い、申し込みにあたり、以下のことに予めご同意ください。

〈同意事項〉

- ・録画録音等は一切禁止します。
- ・オンライン会議システムの環境構築はご自身で行ってください。

申込先 〒316-8511 茨城県日立市中成沢町4-12-1

茨城大学 大学院 理工学研究科 山内紀子

E-mail: noriko.yamauchi.12@vc.ibaraki.ac.jp

TEL: 0294-38-5063

第5回ソフトマター工学分科会 講演会・会員総会

主催 化学工学会 材料・界面部会ソフトマター工学分科会

協賛 化学工学会材料・界面部会

公益社団法人 化学工学会材料・界面部会内に「ソフトマター工学分科会」を2016年3月1日設立しました。本会は、同部会内にあった「高分子・ゲルテクノロジー分科会」と「自己組織化分科会」を発展的に統合し、高分子・ゲル・コロイド・分散系などのソフトマテリアル全般の機能発現や制御およびその製造プロセスを対象として、微細構造、界面活性剤、コロイド分散系、秩序化、核生成、構造・相分離制御、成形加工、レオロジー、刺激応答などを化学工学的に理解し、ハンドリングする技術を構築していくことを目指しています。このたび第5回講演会を企画し、会員間の学術および人的交流を深めていきたいと考えています。今回は、新型コロナウイルス

感染拡大予防のためにオンラインセミナーと致します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。また、本分科会の趣旨にご賛同頂ける方々の入会も併せてお待ちしております。

日時 2020年11月27日(金)13:00～17:20

場所 オンラインセミナー(Zoom)

プログラム

主催者挨拶(13:00～13:10)

講演

1. 「化学反応によって誘起される自走性触媒粒子の集団運動」(13:10～13:50)
同志社大学 理工学部化学システム創成工学科 准教授 山本大吾 氏
2. 「ポリマー修飾粒子の自己組織化」(14:00～14:40)
京都大学 化学研究所 准教授 大野司 氏
3. 「テンプレート材料化学：ナノポアとマイクロコイル」(14:50～15:30)
同志社大学ハリス理化学研究所 教授 彌田智一 氏
4. ディスカッション(15:40～16:40)

会員総会(会計・活動報告)(16:50～17:20)

申込締切 2020年11月13日(金)

参加費 分科会個人会員・法人会員(協賛団体含む)3,000円、会員外4,000円(学生の場合1,000円)、なお、法人会員の方は3名まで会員価格で参加できます(4人目以降は個人会員でなければ会員外となります)。

申込先・問合せ先

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

岡山大学大学院自然科学研究科応用化学専攻内

化学工学会材料・界面部会ソフトマター工学分科会事務局

TEL&FAX: 086-251-8083

E-mail: softmatter.eng2016@gmail.com

HP: <http://softmatter-eng.net>

地 域 C T



東 海 支 部

第44回 基礎化学工学演習講座 (第2クール)ライブ配信

主催 (公社)化学工学会東海支部
共催 (予定)静岡化学工学懇話会、東海化学工業会、(公社)日本分析化学会中部支部、(公社)日本化学会東海支部、(一社)資源・素材学会、(公社)高分子学会東海支部、(一社)日本原子力学会中部支部、(一社)廃棄物資源循環学会、日本溶剤リサイクル工業会、(一社)日本機械学会東海支部、(一社)日本エネルギー学会、化学工学会産学官連携センターグローバルテクノロジー委員会
協賛 (予定)名古屋市工業研究所、(公財)名古屋

屋産業振興公社、(公社)日本環境学会、(一社)電気学会東海支部、(一社)粉体工学会、(公財)中部科学技術センター、(公社)電気化学会東海支部、(公社)有機合成化学協会東海支部

日時 2020年11月5～6日(木～金)、13日(金)
9:45～17:15(昼食休憩:13:00～14:00)

昨今では、AIやIoTなどを踏まえつつスマート化を目指した化学プラント構築の模索が行われておりますが、化学工学の理論との整合性を踏まえて行われる必要があります。また、高純度化を目指すプラント設計やトラブル解決のためにも化学工学の専門的な知識を持つ技術者の存在は、ますます重要となってきています。

本講習会では、プラントの設計や運転には関わっているが化学工学を勉強する機会がなかった初心者の方から、さらに専門的な知識を習得

したい技術者の方まで、原理や理論の説明に加え、豊富な事例に基づく例題を解きながら学べる機会を提供します。受講者のレベルに応じて5つのクールを用意しています。そのうち第2クールにおいても、Zoomウェビナーによるライブ配信により開催します。午前は大学講師による講義を中心とした概要の説明と例題の演習を、午後は企業技術者から実務に即した演習を中心とした講義を開催します。チャット機能や音声通話機能を用いて、参加者からの質問を受け付ける予定です。

第3クール以降も、日程を変更して順次開催する予定です。第3クール以降も是非聴講をご検討ください。

プログラム(第2クール)

第4日 11月5日(木) 化学工学基礎・拡散

午前 単位と次元(Ⅱ)、状態方程式(Ⅱ)

名古屋工業大学 名誉教授 多田 豊 氏

午後 収支、拡散、物質移動、燃焼計算
日油(株) 押川貴成氏

第5日 11月6日(金) 流動
午前 流体の流れと計測、円管内の流れ、流体と輸送 静岡大学 前澤昭礼氏
午後 流体輸送機器の設計と実際
三井化学(株) 秦 裕作氏

第6日 11月13日(金) 伝熱
午前 伝導伝熱、対流伝熱、放射伝熱
名古屋大学 窪田光宏氏
午後 熱交換器などの設計と実際
日本製鉄(株) 岡島亮太氏

各講師の講義内容の詳細をホームページ(<http://scej-tokai.org/>)でご紹介しています。

対象 基礎から応用例を学びたい方。工学部卒、高専卒程度の知識のある方。第1クール程度の知識のある方。物質収支、熱収支、移動論の基礎から実践的な例を学びます。

定員 90名(定員になり次第締切)
テキスト 『改訂第3版 化学工学』(朝倉出版)
定価2,500円(税別)
テキストをお持ちでない場合は、参加費にテキスト代を加えてお申し込み下さい。

会員特典 化学工学会正会員、学生会員ならびに法人会員会社社員の方は、本講座受講者限定に特別にテキスト代を1,000円(税込み)でご用意します。

参加の際の注意

- (注1)関数電卓、定規を使用する場合がございますのでご用意ください。
- (注2)本セミナーの本講習会で作成した資料や配信動画は著作物のため、複写・録音・録画・転載・上映・無断公開等を禁止いたします。
- (注3)受講者様の起因による視聴トラブルについては、弊会は責任を負えませんのでご理解ください。

参加費(3日間、消費税込み)

化学工学会正会員	25,000円
化学工学会法人会員会社社員	30,000円
共催・協賛団体会員	35,000円
学生会員	10,000円
会員外	60,000円(個人会員入会+会員参加費の方が安価です。)

送金方法 現金書留または銀行振込

みずほ銀行 名古屋支店 普通預金 No. 1055521

「公益社団法人化学工学会東海支部」

ゆうちょ銀行 名古屋00880-7-5640

「公益社団法人化学工学会東海支部」

申込方法 化学工学会東海支部ホームページにアクセスし、「参加申込フォーム」からお申込み下さい。

<http://scej-tokai.org/>

※本講座は、ビデオ会議ツール「Zoom」ウェビナーを使ったライブ配信となります。推奨環境については、当該ツールをご参照ください。後日、視聴用のURLを別途メールにてご連絡いたします。ライブ配信に関する注意事項は、別途参加申込者に連絡されるメールよりご確認ください。

申込締切 10月20日(火)

問合せ先 化学工学会東海支部

〒466-8555 名古屋市中区昭和区御器所町 名古屋工業大学 生命・応用化学科 化学工学研究室内
<http://scej-tokai.org/>
E-mail : info@scej-tokai.org

関西支部

入門触媒科学セミナー

主催 近畿化学協会触媒・表面部会
共催 化学工学会関西支部ほか

日時 2020年10月19日(月)~20日(火)

プログラム

[10月19日・月]

1. 開会挨拶 (阪大院工)森 浩亮氏
2. 触媒科学の基本概念-これだけは知っておこう- (関西大環境都市工)三宅孝典氏
3. 固体表面の酸・塩基点とその触媒機能 (徳島大院創成科学)山本 孝氏
4. 金属酸化物触媒-多様な触媒機能の宝庫- (京大院工)寺村謙太郎氏

[10月20日・火]

5. 遷移金属錯体触媒-錯体の基礎と有機合成触媒反応- (奈良女大院自然)浦 康之氏
6. 金属ナノ粒子触媒-構造と触媒作用及び設計法- (阪大院基礎工)満留敬人氏
7. 触媒調製化学-基礎から最新のナノ構造触媒まで- (阪大院工)森 浩亮氏
8. 閉会挨拶 (阪大院工)森 浩亮氏

定員 80名

参加費 (両日参加) 共催団体会員27,000円, 近畿化学協会触媒・表面部会法人会員22,000円, 一般37,000円, 学生6,000円
(何れか1日参加) 共催団体会員17,000円, 触媒・表面部会法人会員12,000円, 一般27,000円, 学生6,000円(講義資料, 消費税含む)

参加方法 新型コロナウイルス対策のため上記プログラムをオンラインで行います。参加ご希望の方にはお申込み後、視聴用のURL等をメールにてご連絡致します。また資料はご送付申し上げます。

参加申込方法 HP (<https://kinka.or.jp/form/view.php?id=26601>) からお申込みの上、参加費を銀行振込(三井住友銀行 備後町支店 普通預金 No.1329441 一般社団法人近畿化学協会)にて送金してください。振込手数料は参加者でご負担願います。

参加申込締切 9月25日(金)

申込先 近畿化学協会触媒・表面部会
〒550-0004 大阪市西区鞠本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
TEL : 06-6441-5531 FAX : 06-6443-6685
E-mail : catal@kinka.or.jp

公開講演会

「マテリアルインフォマティクスの最近の動向」 〈オンラインによる講演会〉

主催 近畿化学協会機能性色素部会・同エレクトロニクス部会
共催 化学工学会関西支部ほか

日時 2020年11月12日(木)13:00~17:10

開催形式 オンラインによる講演会(ライブ配信)
プログラム

1. 計算化学とマテリアルズ・インフォマティクスを活用した機能性材料の開発 (コニカミノルタ)北 弘志氏
2. 反応経路のデータベースと機械学習を用いる触媒・発光材料の理解・分子設計 (慶應大理工)畑中美穂氏
3. 目標から特徴量を直接予測するモデル逆解析法および適応的実験計画法への応用

(明治大理工)金子弘昌氏
4. 統計的機械学習による材料の表現と生成: 新分野の開拓と障壁 (統計数理研)吉田 亮氏
参加費 共催団体会員10,000円, 会員外15,000円, 学生2,000円, 近畿機能性色素部会・エレクトロニクス部会法人会員/近畿化学協会会員 無料(何れも消費税, テキスト代含む)

参加申込締切 11月2日(月)

参加申込方法 詳細はホームページ(<https://kinka.or.jp/dye/saishin.html>)をご参照ください。

- ・オンライン配信ツールは「Microsoft Teams」を利用します。「Microsoft Teams」アプリのダウンロード, Webブラウザでご参加が可能です。
- ・パソコン・タブレット等, 質疑応答用のウェブカメラ・マイク等, オンライン配信ツール利用に際しての必要な機材・設備は各自でご準備ください。
- ・発表者の許可がない限り, 受信資料の保存・録音・再配布は固く禁止します。
- ・参加申込者には, 「11/4項に「接続ID」等」の情報をお知らせいたします。

申込・問合せ 一般社団法人近畿化学協会機能性色素部会・同エレクトロニクス部会
〒550-0004 大阪市西区鞠本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
TEL : 06-6441-5531 FAX : 06-6443-6685
E-mail : seminar@kinka.or.jp

ナノ材料の表面分析講習

主催 近畿化学協会触媒・表面部会
共催 化学工学会関西支部 等

日時 2020年11月19日(木)~20日(金)

[11月19日(木)9:45~18:00]

開会挨拶 (京大院人環)吉田寿雄氏

1. 表面分析概論 (関西大環境都市工)池永直樹氏
2. 顕微鏡(TEM・SEM・STM・AFM) (近畿大理工)田中淳皓氏
3. 紫外可視・光ルミネセンス(UV-vis, PL) (京大院人環)山本 旭氏
4. 赤外・ラマンスペクトル(FT-IR, Raman) (関大環境都市工)福康二郎氏
5. X線回折(XRD) (阪市大ReCAP)東 正信氏
6. X線吸収微細構造(XAFS) (京大国際融合)朝倉博行氏
7. 光電子分光法(XPS, UPS) (阪府大院工)堀内 悠氏

[11月20日(金)9:30~16:30]

8. 電子スピン共鳴(ESR) (阪府大院工)松岡雅也氏
9. 核磁気共鳴(NMR) (阪大院基礎工)水垣共雄氏
10. 質量分析(MS) (神戸大院工)谷屋啓太氏
11. 昇温スペクトル(TPD, TPR) (阪大院工)桑原泰隆氏
12. 組成分析(AAS, ICP-AES, XRF) (阪府大院工)亀川 孝氏
13. 総論・ケーススタディー (阪市大ReCAP)吉田朋子氏

閉会挨拶 (京大院人環)吉田寿雄氏
定員 80名

参加費 (両日参加) 共催団体会員30,000円, 近畿化学協会触媒・表面部会法人会員25,000円, 一般40,000円, 学生8,000円
(何れか1日参加) 共催団体会員20,000円, 近畿化学協会触媒・表面部会法人会員15,000円, 一般30,000円, 学生8,000円

参加方法 新型コロナウイルス対策のため上記プログラムをオンラインで行います。参加ご

希望の方にはお申込み後、視聴用のURL等をメールにてご連絡致します。また資料はご送付申し上げます。

参加申込方法 HP (<https://kinka.or.jp/form/view.php?id=28120>) からお申込みの上、参加費を銀行振込(三井住友銀行 備後町支店 普通預金 No.1329441 一般社団法人近畿化学協会)にて送金してください。振込手数料は参加者でご負担願います。

参加申込締切 10月29日(木)

申込先 近畿化学協会触媒・表面部会
〒550-0004 大阪市西区朝本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685
E-mail: catal@kinka.or.jp



中国四国支部

中国地区化学工学特別講演会 「持続可能社会の実現に向けた 化学産業の貢献」

主催 (公社)化学工学会 中国四国支部, 中国地区化学工学懇話会

2015年に国連サミットにて、持続可能な開発目標(SDGs)が決議されてから、2030年までの国

際目標に向けて、我が国でも具体的な社会設計と社会実装が進んでいます。特に、化学工学は、化学製品を作り出し、社会に役立たせる学問であり、SDGsにおける役割は重要であると言えます。本講演会では、教育研究機関における取組みと、産業界のイノベーション事例を紹介し、SDGsに貢献する化学産業の事例を情報共有する機会としたいと考えています。また、今後さらにどのような学問的または技術的な貢献が可能か、化学と化学工学の技術者が一堂に会し、徹底的に議論を行いたいと思います。

日時 2020年12月11日(金)14:30～17:15
場所 RCC文化センター(〒730-0015 広島市中区橋本町5-11)
化学工学会中国四国支部・関西支部合同大会 会場内
アクセス 広島駅(南口・在来線口)から徒歩10分
備考 新型コロナウイルス感染拡大時には、オンライン開催への切り替えを予定

プログラム

主催者挨拶(14:30～14:35)
広島大学大学院工学研究科 教授 中井智司氏〔講演〕
1) (14:35～15:10) 広島大学のSDGsの取り組み：グローバル戦略と地方創生の融合
広島大学副学長(グローバル化推進担当) 人間社会科学研究科 教授・広島大学FE・SDGsネットワーク拠点 拠点長 金子慎治氏

- 2) (15:10～15:50) 三菱ケミカルにおけるDX推進事例
三菱ケミカル(株)生産技術部 DX推進G 手塚理沙氏
3) (15:50～16:30) バイオマスからのC4化成品製造に関する実証
金沢大学 先端科学技術共同研究講座 特任教授 新井 隆氏
4) (16:30～17:10) 脱石油、脱合成、微生物を利用した天然型高分子の製造と材料化
(株)カネカ バイオテクノロジー研究所 バイオプロダクツ研究Gr 佐藤俊輔氏
閉会挨拶(17:10～17:15)

定員 80名

参加費 無料(ただし、支部合同大会に参加される方は、別途支部合同大会への参加申し込みが必要)

申込方法 参加者氏名、会員・非会員の区別、勤務先、所属、連絡先(住所、TEL、FAX、E-mail)を明記し、電子メールでお申込み下さい。

申込締切 2020年11月6日(金)

申込先 (問合せ先) 〒739-8527 東広島市鏡山1-4-1
広島大学工学部化学工学講座内 中国地区化学工学懇話会事務局
TEL: 082-424-7718 FAX: 082-424-5494
E-mail: ysasa@hiroshima-u.ac.jp
中国地区化学工学懇話会ホームページ:
<https://home.hiroshima-u.ac.jp/konwakai/>



求人

☆東京都市大学 理工学部 応用化学科 募集☆

募集人員: 教授または准教授 1名
専門分野: 生物物理化学, 生物プロセス工学
応募資格: 博士の学位を有すること。その他は化学工学会ホームページで確認してください。
応募締切: 2020年10月30日(金)【必着】
問合せ先: 〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1-28-1
東京都市大学理工学部エネルギー化学科 学科主任 高橋政志
TEL: 03-5707-0104(内線: 3817)
E-mail: mtakahas@tcu.ac.jp